

平成 23 年度産学官連携推進ネットワーク形成事業
支援対象テーマ

採択企業	支援対象テーマ	概要
<p>有限会社グリーン プラン新城</p>	<p>衝撃波による植物精油生産の高度化への応用</p>	<p>アロマ業界などでも注目されている月桃から抽出した精油は、1000ml あたり 60 万円程度と非常に高価なものであるが、月桃に含まれる油成分は比較的少なく歩留まりが悪いため、より効率のよい抽出方法による生産性の向上が課題となっている。</p> <p>本テーマでは、衝撃波で植物細胞壁を破壊することによる高効率精油抽出技術の確立を目指すとともに、本技術を沖縄県産のタンカンとシークワサーにも応用して、これまでにない精油製品の開発を目指す。</p>
<p>株式会社シー・アイ・バイオ</p>	<p>歯垢・口臭生成抑制用デンタルケアスプレー液の開発</p>	<p>歯垢・口臭などの除去は、通常、歯磨きやうがい剤などで行なわれているが、幼児や要介護高齢者は、自力ではこれらが出来ず、母親や介助者などの介助を必要としている。</p> <p>本テーマでは、優れた抗う蝕機能性をもつサイクロデキストラン(CI)を利用して簡単に歯垢・口臭を除去できる口腔内スプレーを開発する。</p>
<p>株式会社トリム</p>	<p>多孔質軽量発泡資材(スーパーソル)シロアリ対策資材開発研究</p>	<p>国内におけるシロアリの住宅への被害は年間数千億円にもものぼると言われ、除湿や薬剤を使った防除などが行われているが、住環境への影響を考慮して薬剤利用を好まない客も少なくない。本テーマでは、同社が保有する多孔質軽量発泡資材(スーパーソル)がもつ特徴(除湿機能や物質の保持機能)をシロアリ対策資材に活用するため、除湿や自然由来の精油を組み込むことによる防除性能を検証する。</p>

<p>株式会社沖縄さとうきび機能研究所</p>	<p>さとうきび、スイートソルガム植物水の機能成分分析と飲料水、化粧水への商品化</p>	<p>さとうきび細胞内の抗酸化能をもつと見られるポリフェノールを含有する植物水の活用方法を探る研究開発である。植物水の成分や機能性の分析、植物水分離条件の確立、試作品の製作などを行うとともに、さとうきびの収穫期以外でも原料を確保するため、さとうきび代替作物としてのスイートソルガム(イネ科ソルガム属。茎は多汁質で糖分含有率が高い)の原料化の可能性を検討する。</p>
<p>農業生産法人株式会社平良熱帯果樹園</p>	<p>沖縄県産ミツバチ花粉荷を原料とした特産商品の開発</p>	<p>ミツバチの食料やローヤルゼリーの原料となる「花粉荷」(かふんか)は、ミツバチが花から集めた花粉を蜜などで固めたもので、アミノ酸類、ビタミン類などが豊富に含まれている。これを原料とした新たな商品開発の可能性を探るため、酵素による花粉荷の処理方法や花粉荷採集量の調査などを実施する。</p>

以 上